

2003年度 病理学各論卒業試験問題 問1解答例

正解(d.f)

修正部位を()で示す:

a. (鉄欠乏性貧血) 悪性貧血 胃全摘後:

胃全摘後等におこる貧血は、(胃壁細胞から出る内因子の欠乏によるビタミン B12 の吸収障害による)。DNA 合成障害で、MCV が正常より大きい大球性貧血で、骨髄では細胞質の成熟に比べて、核網が未熟な巨赤芽球が主体をなす。鑑別は葉酸欠乏症、赤白血病、骨髄異型性症候群である。ビタミン B12 の補充療法で、予後良好である。

b. AML(M3) Auer小体 DIC (グリベック):

(全トランス型レチノイン酸)。前骨髄球性白血病アズ-ル顆粒が崩壊してトロンボプラスチン様物質が放出されるため、M3はDICを合併していることが多い。DICの治療は一般的にはヘパリンが使用されるが、M3では全トランス型レチノイン酸を経口投与することにより、白血病細胞は分化誘導され、ヘパリンを使用しなくてもDICは改善する。

b. 消化管の粘膜下腫瘍(GIST) c-kit陽性細胞 (トランスツブマブ)

消化管の間様系腫瘍は平滑筋への分化を示すもの、神経系の分化を示すもの、そのいずれをも示さないものに分けられるが、実際にはそれほど均一でない。GISTはc-kit蛋白(CD117)陽性細胞からなる腫瘍で、全ての腫瘍で、大多数の腫瘍細胞の細胞質に陽性細胞を含むと定義される。分子標的治療薬としては(グリベック)(c-kit tyrosine kinase 阻害剤である ST1571)がある。慢性骨髄性白血病治療薬でも有る。そのため、c-kitを証明すべき免疫染色で腫瘍の性状を示す必要がある。

e. 胎児水腫 ヒトパルボウイルス B-19 感染症 (RH(+))--心奇形

超音波上、皮下浮腫、腔水症を呈する胎児で、種々の原因がある。大きく分けて、免疫型、非免疫型に分けられる。前者の代表が、母親の(RH(-))による血液型不適合妊娠による重症胎児溶血性貧血である。そのメカニズムの解明から、現在では免疫型に起因する胎児水腫は減少する。胎児浮腫は胎児の循環不全、貧血、低蛋白血漿が、3大原因とされるが、その他種々の特異性あるいは奇形を伴うことが多い。

g. 結核((グラム染色))-- 腎生検(電子顕微鏡検査)--マルファン症候群(酸性ムコ多糖染色)--真菌(グロコット染色)

病理検査には種々の特殊染色、電子顕微鏡的検査、時に遺伝子検索が必要である。

結核は好酸菌染色で染められる細菌で、診断的意義は高い。非定型好酸菌も陽性となる。近年はPCRでの菌の検出が行われている。